World Platinum Investment Council
ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル
JBMA

Pt & Pd

Market Weekly

2024年03月20日

市場価格

ドル建て　ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	915.60	2024/3/11
High	953.75	2024/3/15
Low	912.70	2024/3/12
Close	938.10	2024/3/15

円建て　円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4327.00	2024/3/11
High	4561.00	2024/3/15
Low	4317.00	2024/3/11
Close	4495.00	2024/3/15

ドル建て　ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1024.27	2024/3/11
High	1110.75	2024/3/15
Low	1005.00	2024/3/12
Close	1082.80	2024/3/15

円建て　円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	4844.00	2024/3/11
High	5312.00	2024/3/15
Low	4772.00	2024/3/12
Close	5177.00	2024/3/15

ニュースエクスプレス

シンガポールのシルバー・ブリオン、プラチナ市場が供給不足予測の中で、Platinum Grams Savings Program を開始

シルバー・ブリオン（ www.silverbullion.com.sg ）は、 S.T.A.R. Grams savings program に新たにPlatinum Grams（プラチナグラムズ） を加えると発表した。同社ではすでに同アプリで Gold Grams （ゴールドグラムズ）と Silver Grams（シルバーグラムズ）を提供しており、今後投資家がモバイルアプリで取引できる貴金属が増える。ゴールドとシルバーと同様に Platinum Grams は、The Safe Houseと呼ばれる同社のシンガポールにある保管庫に保管されている保証付きの投資用プラチナ地金の一部を保有することになる。通常のプラチナ地金インゴットやコインはあらかじめ重量が決まっているが、S.T.A.R. Grams の口座では好きな金額でも重さでも（わずか 0.1 グラムからでも）指定して売買ができる。詳細は添付の**シンガポールのシルバー・ブリオン−Platinum Grams Savings Program を開始**をご参照ください。

https://www.silverbullion.com.sg/Articles/Detail/Silver-Bullion-strategically-launches-Platinu/10667

燃料電池自動車、プラチナ需要には朗報も、量的にはまだわずか

ホンダ技研工業は今年、米カリフォルニア州にて新たな燃料電池ハイブリッド車を販売し、新しいドライブトレインの一つとしてはバッテリー電気自動車に押され気味の燃料電池自動車の普及のテコ入れを狙う。新たなモデルは燃料電池のバックアップとして外部からの充電ができるプラグイン機能を備える。カリフォルニア州では昨今、シェルが全ての公衆水素充電ステーションを閉鎖すると発表しているため、燃料電池自動車が家庭で充電できるとなれば消費者の使い勝手は上がる。現時点で燃料電池自動車の販売台数はまだ少なく、昨年は全米で 3000 台、のべで 2万5000台に達するには今のペースだと 2025 年までかかると予測されている。中国では昨年の燃料電池の普通乗用車販売高は米国の 2 倍だが、バッテリー電気自動車に比べると割合的には多いとは言えない。燃料電池自動車のプラチナ需要はおよそ0. 9 トンとされており、将来の需要が増えるかどうかは、今のところ研究開発に多くの資金を集めている民間セクターにかかっている。トラック製造大手のほとんどは燃料電池トラックに着手しており、2030年終わりまでにはプラチナ需要分野の中で燃料電池自動車は今より大きな部分を占めるようになるだろう。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20240304.pdf#msdynttrid=etsIV-sTyLIlhXKIS-UWcdWTozIPChi9vIAdqJe8Au8

Translated by Kazuko OSAWA

米GMが「水素燃料電池車」に本腰、作業用トラックのテストを準備中

米国最大の自動車メーカーであるゼネラルモーターズ（GM）は、過去数十年にわたり水素燃料電池の実験を進めてきたが、まだ販売を行っていない。しかし、同社はこれらの車両を電力会社に作業用車両として販売するためのテストを行っている。

GMのハイドロテック部門は3月5日、燃料電池システムを搭載したピックアップトラックを、大手電力会社サザン・カンパニーに今年後半に納入すると発表した。この車両は、1回の燃料補給で300マイル（約480キロ）以上を走行可能で、電力供給システムとしても機能する。燃料補給は、サザン・カンパニーとノルウェーの電解槽メーカーNel（ネル）が共同で開発した再生可能電力システムから水素を発生させるステーションで行われる。

https://www.msn.com/ja-jp/news/techandscience/%E7%B1%B3gm%E3%81%8C-%E6%B0%B4%E7%B4%A0%E7%87%83%E6%96%99%E9%9B%BB%E6%B1%A0%E8%BB%8A-%E3%81%AB%E6%9C%AC%E8%85%BD-%E4%BD%9C%E6%A5%AD%E7%94%A8%E3%83%88%E3%83%A9%E3%83%83%E3%82%AF%E3%81%AE%E3%83%86%E3%82%B9%E3%83%88%E3%82%92%E6%BA%96%E5%82%99%E4%B8%AD/ar-BB1jsikD

エレメンタルと三菱商事、PGMリサイクルで提携

エレメンタル・ホールディング SA と三菱商事は、白金族金属（PGM）リサイクルにおける戦略的パートナーシップの形成に合意した。

この戦略的パートナーシップは、使用済み自動車触媒コンバーターの回収と前処理、精製PGM金属の製錬・精製・販売において、エレメンタールと三菱商事の専門知識とリソースを結合させるものである。両社は、エレメンタルの世界有数のPGMリサイクル事業を拡大・成長させるため、様々な面で協力していく。

https://americanrecycler.com/elemental-holding-and-mitsubishi-corporation-partner-in-platinum-group-metals-recycling/

WPIC直近の活動

2023 年第4四半期の供給として、鉱山生産の伸びで総供給量は前年比 5% アップし、精錬供給は南アの回復で前年比11%増加、一方でリサイクルでは回収網の問題が解消せず、前年比マイナス 14%となった。一方、需要としては自動車と工業需要の成長で前年比 14%増、うち、自動車需要として自動車生産の回復と代替需要で前年比 12% アップし、宝飾品需要において中国の需要低迷をそれ以外の地域でカバーされ、工業需要ではガラス生産増強のタイミングにより前年比 33%アップしたが、投資需要ではETFの売りがインゴットとコインの需要を相殺してネットでマイナスとなった。全体的には2023年と2024年は2年連続で供給不足が続く。投資家の先物ポジション、中国のプラチナ輸入、供給サイドの問題、自動車業界の動き、水素市場の動き等も議題となった。また、2024年7月8日〜11日に2024年上海プラチナウィークの開催予定が発表された。詳細は**2023年Q4 プラチナ四半期レポート プレゼンテーション**をご覧ください。

https://platinuminvestment.com/files/547362/WPIC_Platinum_Quarterly_Q4_2023_Presentation_JA.pdf

2月26日〜3月3日まで開催された「UK Hydrogen Week 2024 」には、参加者 6300 人、110のパートナー企業や団体が参加し、炭素排出ネットゼロ達成のため、国内の様々な関係者が水素の重要な役割について話し合った。詳細は**プラチナ豆知識 - UK Hydrogen Week**をご覧ください。

https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC_60seconds__UK_Hydrogen_Week_02_29_2024_JA.pdf

(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。